



東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕
大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2019
－被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成－

実施報告書

(2019年10月～2020年9月)

2020年12月14日

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

本プログラムについて

- 本プログラムは、大和証券株式会社に「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol.3ーフェニックスジャパン」の信託報酬の一部をご寄付いただき、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが「東日本大震災現地NPO応援基金」の特定助成として、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドと協力して実施しています。

- 東日本大震災の復興支援（被災者の生活再建等の支援）のため、NPOの果たす役割には、大きな期待が寄せられている。しかしその組織基盤は未だ弱く、必要な支援を自力で安定的に供給するためには組織の基盤強化が必要であり、特に適切な人材の確保と育成が不可欠である。このプログラムではそのような人材を雇用から支援し育成することで、被災者の生活再建への寄与を願うものです。

- **プログラム概要**

- ・ プログラム名 東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕
大和証券フェニックスジャパン・プログラム
 - ・ テーマ 被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成
 - ・ 助成対象 岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的視点で支援する「現地NPO」
 - ・ 実施期間 2012年開始
 - ・ 助成方法 公募助成（毎年1回の公募）
 - ・ 助成期間 1年間（10月～翌年9月）
 - ・ 助成実績
 - 2012年 3,100万円（新規助成7件2,950万円、合同研修助成150万円）
 - 2013年 3,503万円（新規助成5件1,860万円、継続助成4件1,493万円、合同研修助成150万円）
 - 2014年 3,210万円（新規助成7件2,325万円、継続助成2件685万円、合同研修助成200万円）
 - 2015年 3,680万円（新規助成6件2,489万円、継続助成3件941万円、合同研修助成250万円）
 - 2016年 2,407万円（新規助成3件1,080万円、継続助成4件1,327万円）
 - 2017年 3,153万円（新規助成7件2,690万円、継続助成2件463万円）
 - 2019年 2,509万円（新規助成4件1,393万円、継続助成3件1,116万円）
 - 2019年 2,562万円（新規助成5件1,830万円、継続助成2件732万円）
- 総助成額：24,124万円（2012年～2019年）

2019年助成プログラム（2019年10月～2020年9月）

(1) 2019年助成プログラムの経過

2019年助成は、2019年10月1日から開始し、2020年9月30日に1年間の助成期間を終了した。助成対象団体は7団体、育成対象スタッフは9名であった。

事務局は、助成対象団体へのフォローアップとして、育成レポート（4回／3カ月毎）など報告レポートの確認、中間インタビュー、合同研修会（2回）の実施に加え、適宜相談対応を行った。

<2019年助成対象一覧>

【新規助成】5件／助成額：1,830万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	子ども・若者支援事業マネージャー養成プロジェクト	特定非営利活動法人 TEDIC	宮城県 石巻市	477
2	みんなのひろば事務局整備プロジェクト 2019	特定非営利活動法人 みんなのひろば	福島県 伊達市	336
3	復興連携の核となるスタッフの育成計画	特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワーク センター	福島県 福島市	400
4	福祉雇用、防災教育、観光促進支援事業継続のための人材育成	特定非営利活動法人 チームふくしま	福島県 福島市	401
5	プログラム強化と総合マネジメントを担える人材育成計画	特定非営利活動法人 いざかサポーターズク ラブ	福島県 福島市	216

【継続助成】2件／助成額：732万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	にじいろクレヨン事務局体制強化計画（2）	特定非営利活動法人 にじいろクレヨン	宮城県 石巻市	398
2	人と自然のつながりを再構築し、地域に芽生えた想いを体現・事業化できる組織づくりのための経営人材の育成（2）	特定非営利活動法人 ホールアース研究所（ホー ルアース自然学校 福島校）	福島県 郡山市	334

(2) 2019 年助成の結果

【新規助成】

●19-1-1 特定非営利活動法人 TEDIC

子ども・若者支援事業マネージャー養成プロジェクト

育成対象スタッフ：大津 賢哉（事務局スタッフ）

スーパーバイザー：鈴木 平（副代表理事）

団体の概要

東日本大震災で被災した子どもたちへの学習支援を目的として 2011 年に設立した。宮城県石巻市を中心に子ども・若者を対象にした相談支援、生活困窮世帯の子どもたちへの学習・生活支援、その他フリースクール事業などを行っている。

助成による育成事業の内容

スタッフひとりひとりが責任のある役割を担い、チームとして子ども・若者支援を行っていく組織に成長させるため、また新規事業や持続可能な財務基盤の構築に必要なリソースを集中させるためにも、支援事業のマネージャーを養成する。子ども・若者支援に必要な知識及び実践を外部講師などの力を借りて学ぶ。

成果と今後

新型コロナウイルスの影響で外部視察研修はできなかったが、その代わりにオンライン講習などを実施することができた。マネージャー業務や支援業務についても教える機会が増えたため、育成対象スタッフにマネージャーとしての意識が芽生え始めた。また、組織内の意思決定スピードやお互いの役割分担に対する理解も深まるなど、組織に厚みがでてきた。今後は、マネージャーとしての意識が芽生え始めたことも活かして、具体的に団体にどんな価値をどのような方法で残すのかなどを考えていく。

- ・代表者：門馬 優
- ・所在地：宮城県石巻市
- ・設立年：2011 年
- ・活動地域：宮城県石巻市、東松島市、女川町
- ・<https://www.tedic.jp/>



●19-1-2 特定非営利活動法人 みんなのひろば

みんなのひろば事務局整備プロジェクト 2019

育成対象スタッフ：齋藤 智子（事務局スタッフ）

スーパーバイザー：齋藤 大介（理事長）

団体の概要

フリースクール・放課後等デイサービス運営・相談支援事業などを通して、不登校でも、障害があっても夢を持って安心していることができる地域づくりを行っている。

助成による育成事業の内容

法人事務局を強化するために法人の経営や運営管理、法人会計などを学び、各種規程や業務マニュアルなどを整備する。さらに県内外の当法人のビジョンと重なるような施設視察などを行う。

成果と今後

視察、外部研修、現場実習、資格取得へ向けての

- ・代表者：齋藤 大介
- ・所在地：福島県伊達市
- ・設立年：2004 年
- ・活動地域：福島県伊達市
- ・<http://minnanohiroba.org/>



通信教育などは育成対象スタッフを大きく成長させた。今の自分は何を学ぶことが必要なのか、何を学べば法人の事務局を担う存在になれるのかということを考えながら動くようになった。また、業務マニュアルの作成をする際にも全スタッフが参加するなど法人全体もまとまってきた感じがする。今後は、他のスタッフも積極的に外部研修に参加させるなど法人全体の底上げをしていく。

●19-1-3 特定非営利活動法人 ふくしま NPO ネットワークセンター

復興連携の核となるスタッフの育成計画

育成対象スタッフ：高槻光子、金子純一（事務局スタッフ）

スーパーバイザー：深澤 秀樹（常務理事）

団体の概要

福島県内の NPO・市民活動団体が活発に活動できるようにサポートをする目的で設立された。そのため助成金プログラムの実施、NPO の人材育成、セクターの垣根を超えた連携事業の構築などを行っている。また、市民活動サポートセンターなどの運営事業も行っている。

助成による育成事業の内容

ボランティアコーディネーター・ファンドレイジングなどの専門知識を身につけ、課題を抱える NPO の伴走支援ができるようにする。そのため外部研修や専門家を招いた勉強会を実施する。また、NPO 支援センターインターン研修や NPO 相談対応など先輩スタッフに同席するなどの OJT も充実させる。

成果と今後

新型コロナウイルス感染状況の影響で、外部研修やインターン研修を予定通りに実施できなかった。OJT やケーススタディを通じて、課題を抱える NPO の相談に対する知識と、地域の活動団体の支援への幅が広がった。また、今まで管理的な視点で運営業務を遂行していたが、地域活動団体寄りの支援的な視点も加わるようになった。さらに、育成対象スタッフ自らが企画提案をするようになり、積極性が増した。今後はフィールドワークとして、地域に必要と感じている事業を実施している NPO 団体などを訪問し、現場団体の実態を学び、今後の相談業務などに活かしていく。

- ・代表者: 牧田 実
- ・所在地: 福島県福島市
- ・設立年: 2000 年
- ・活動地域: 福島県全域
- ・<https://f-npo.jp/>



●19-1-4 特定非営利活動法人 チームふくしま

福祉雇用、防災教育、観光促進支援事業継続のための人材育成

育成対象スタッフ：清野 巽（事務局スタッフ）

スーパーバイザー：半田 真仁（代表理事）

団体の概要

「For you For japan」を理念に掲げ、福島から日本を元気にする活動を行っている。主にひまわりを全国各地で「里親」として育て、花を咲かせて採種し、その種を福島で「復興のシンボル」として咲かせることにより、福島と全国との絆を深める「福島ひまわり里親プロジェクト」を行っている。

助成による育成事業の内容

将来の事務局長として少しずつ育成していくためにマネジメント・会計管理・経営的思考などを学びつつ、定期的な面談で振り返りを行う。また、震災伝承を行っているNPOやNPOを応援している企業を視察し、先行事例などを学ぶ。

- ・代表者：半田 真仁
- ・所在地：福島県福島市
- ・設立年：2009年
- ・活動地域：福島県内避難地域
- ・<https://www.sunflower-fukushima.com/>



成果と今後

阪神淡路大震災の震災伝承伝達方法を震災25周年記念行事や視察を通じて学ぶことができた。さらにマネジメント研修と面談を通じて自団体の理事の想いやきっかけなどを聞くことで「福島ひまわり里親プロジェクト」の理解を深めることができた。また、研修を通して事務局運営体制や職場環境改善を進めることもでき、組織の基盤強化にもつながった。今後は、東日本大震災時に何があったのかを改めて学び、そのことを伝承・伝達していくための組織基盤をつくっていく。

●19-1-5 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

プログラム強化と総合マネジメントを担える人材育成計画

育成対象スタッフ：金澤 次郎（理事）

スーパーバイザー：佐藤 耕平（理事長）

団体の概要

福島市飯坂地区のまちづくりを行うとともに観光資源を後世に守り伝えている。東日本大震災後、被災者支援や観光客誘致のためにカヤックツアーなどアウトドアのアクティビティプログラム（野外活動プログラム）などを行っている。

助成による育成事業の内容

アウトドアのアクティビティプログラムの強化や新規プログラム展開などのため法人のコミュニティマネジメント力を高める。そのためコミュニティマネジメントやアウトドア教育ファシリテーションなどを学ぶ。

成果と今後

コミュニティマネジメントでは、法人が何に向かって進めているのかの、理事・スタッフとのコミュニケーションの重要性を再確認した。県外視察研修では、収益事業を拡充していくために、スタッフ育成だけではなく、地域との関わりを強め、地域のなかに団体をサポートしてくれる人を見出す必要性などを学んだ。今後は、地域の資源を再確認したう

- ・代表者：佐藤 耕平
- ・所在地：福島県福島市
- ・設立年：2009年
- ・活動地域：福島県福島市
- ・<https://iizakasupporters.com/>



えで、地域資源の活用と街ににぎわいを戻す活動を地域と一緒ににつくっていく。

【継続助成】

●19-2-1 特定非営利活動法人 にじいろクレヨン

にじいろクレヨン事務局体制強化計画（2）

育成対象スタッフ：徳田 なるみ、佐々木 浩一（事務局スタッフ）

スーパーバイザー：柴田 滋紀（理事長）

団体の概要

被災地での子どもの居場所づくり・遊び場作りを通して、心豊かな子どもを中心においたコミュニティを作ることを目的とする。

助成による育成事業の内容

被災児童支援からより恒常的な社会課題である「子どもを中心においたコミュニティづくり」へ活動をシフトすることを見据え、より社会にひらかれた健全な組織に成長すべく、事務局機能を向上させることを目的とする。体系的な学習や類似活動への視察を行う。

成果と今後

オンライン研修や現地視察などを通じて、団体としての視点や一市民として市民活動を意識する視点など様々な視点を学んだ。また、1年目に比べて事務局業務の流れを把握して取り組み、他のスタッフとの連携もスムーズにできた。今後は、2年間学んだことを活かして活動の言語化や地域コミュニティづくりの提案をしていく。

- ・代表者：柴田 滋紀
- ・所在地：宮城県石巻市
- ・設立年：2011年
- ・活動地域：宮城県石巻市
- ・<https://niji-ro-kureyon.jp/>



●19-2-2 特定非営利活動法人 ホールアース研究所（ホールアース自然学校福島校）

人と自然のつながりを再構築し、地域に芽生えた想いを体現・事業化できる組織づくりのための経営人材の育成（2）

育成対象スタッフ：和田 祐樹（福島校事務局長）

スーパーバイザー：山崎 宏（代表理事）

団体の概要

『一人ひとりが「人・自然・地域が共生する暮らし」の実践を通じて、感謝の気持ちと誇りを持って生きている社会』の実現を目指し、1982年から全国の拠点で活動。2013年に福島校が設立され、独自運営のもとプログラムを実施している。

助成による育成事業の内容

福島校では、想い先行の立ち上げ期を経て、現在は「地域コミュニティの形成・再構築」の取り組みも開始し、事業の拡大期にある。内外での人との関係性構築におけるスキルを向上させるとともに、視察を通して事業の発展を目指す。

成果と今後

育成対象スタッフだけではなく、他のスタッフの意識が変化し、中核スタッフとの情報共有も活性化された。また、中核スタッフから相談も増え、育成対象スタッフの自己向上意識も高まった。1年目から挑戦している地元高校での授業も順調に進んでいるので、今後

- ・代表者：山崎 宏
- ・所在地：福島県郡山市
- ・設立年：2013年
- ・活動地域：福島県郡山市
- ・<https://www.wens.gr.jp/fukushima/>



も地域教育にしっかりと携わっていく。さらに地域コミュニティとの関係性構築を進めていくが、その一方で内部コミュニケーションは改善点も多いと感じるので、内部の関係性構築も進めていく。

以上

作成：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245
TEL: 03-3510-0855 / FAX: 03-3510-0856